

## 知っておきたい福祉の制度～確定申告の際の医療費控除～

医療連携・患者支援センター ソーシャルワーカー 鈴木 恵子

確定申告時期になりますと、税金が戻ってくるのかどうか、何となく気になるというご相談をお伺いすることが多くなります。既にご存知の方もいらっしゃるとは思いますが、税金の医療費控除とは、支払った医療費から保険などの補てん金を引いた額が年間10万円（所得が200万円未満の人は所得の5%）以上になると税務署へ申請して、税金の還付を受けることのできる方法です。対象となる医療費は、次のようなものです。

### ＜次のもののうち、その病状に応じて一般的な基準を著しく超えない医療費＞

- 医師、歯科医師による診療代、治療代
- 治療、療養のための医薬品の購入費
- 病院や介護施設、助産所の入院・入所費用
- はり師、きゅう師、柔道整復師などによる施術費
- 在宅療養などの訪問看護サービス利用費用
- 介護保険サービス費用のうちの規定相当額など

### ＜次のような費用で診療や治療などを受けるために直接必要なもの＞

- 通院費用、入院の食事代の費用、医療用器具の購入やレンタル費用で、通常必要なもの
- 義手、義足、松葉づえ、補聴器、義歯などの購入費用
- 6ヶ月以上ねたきり状態でおむつの使用が必要であると医師が認めた方のおむつ代など

次のような費用は医療費に含まれないようです。詳しくは最寄の税務署へお問合せなさってみてください。

- 健康診断や美容整形の費用
- 疾病予防や健康増進などのための医薬品や健康食品の購入費
- 治療を受けるために直接必要としない近視、遠視のためのメガネや補聴器などの購入費
- 通院のための自家用車のガソリン代、駐車場代、出産のための実家へ帰る交通費

◎確定申告書に関する問い合わせ先 成田税務署 TEL.0476-28-5151

### 外来受診のご案内

- 受付時間  
初診 8:30~11:00 再診 8:30~11:30  
※一部診療科では午後の受付となる場合があります
- 休診日  
日曜日、祝祭日、第3土曜／創立記念日（6月10日）  
年末年始（12月29日～1月3日）
- 代表電話番号 043-462-8811  
予約変更専用 043-462-0489（平日14時～16時）
- 健康保険証（原本）、その他の公費負担受給者証  
(原本)を必ずご持参下さい。
- 各科外来担当医はホームページ  
<http://www.sakura.med.toho-u.ac.jp> をご覧ください。

### 編集後記

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。お正月といえば、おせち料理にお雑煮、そしてなんといつても箱根駿伝です。毎年すばらしいドラマに感動します。職業柄、猛烈なプレッシャーに襲われるであろう選手たちを思い、前夜眠れただろうか、食事はとれただろうかと余計なお世話ですが考えてしまいます。彼らのみせたひたむきな姿に力をもらい、今年もまた一步踏み出していきたいと思います。



（小山）



編集・発行：東邦大学医療センター佐倉病院 広報委員会  
〒285-8741 佐倉市下志津564-1 TEL.043-462-8811(代表)  
発行日：2011年1月【年4回（1・4・7・10月）発行】  
URL：<http://www.sakura.med.toho-u.ac.jp>

# SAKURAdayori

東邦大学医療センター  
佐倉病院の基本理念

- 質の高い医療を安全に提供する病院
- 地域に貢献する病院
- 人間愛を共有する病院
- 楽しく明るくチャレンジする病院
- 良き医療人を育成する病院

患者の権利

- 質の高い公正な医療が受けられます
- 個人の尊厳が守られます
- 個人のプライバシーが保障されます
- 必要な医療情報の説明が受けられます
- セカンドオピニオンが保障されています
- 医療行為について自己選択ができます

## 新年に寄せて

東邦大学医療センター佐倉病院 病院長 田上 恵

新年明けましておめでとうございます。昨年は451床に生まれ変わった東邦大学医療センター佐倉病院の真価を問われる年として教職員が「一体」となって進んでまいりました。

### ●新生救急センター

以前は常に満床で救急患者さんの受入れが十分ではありませんでした。増床に伴い救急外来と直結した救急ベッドを10床設け救急センターとしました。救急体制も内科系・外科系とともに強化した結果、年間の救急車の受入れがそれまでの2000台から3000台と大きく増えました。

### ●高度な周産期医療で安心な出産

地域周産期母子医療センターを設け、NICU（新生児集中治療室）と一緒に、出産に伴う母体と新生児に起こる様々なリスクに直に対応できる体制を整えています。

### ●侵襲の少ない手術

侵襲の少ない各種鏡視下手術を、外科・産婦人科・泌尿器科を中心に、各種血管内手術を脳神経外科・心臓血管外科・放射線科を中心に専門医が高度な医療を行っています。その他の外科系各科（整形外科・耳鼻咽喉科・眼科・形成外科・皮膚科）を含めた手術をバックアップすべく手術室も8室と増え、安全に行うために麻酔科専門医が支えています。

### ●先駆的内科治療

内科系は消化器班で炎症性腸疾患に先駆的な治療をしています。呼吸器、糖尿病・内分泌・代謝、循環器、神経



内科各班ともそれぞれ専門分野を研鑽しつつ、一体となり全人医療を目指しています。特に抗酸化療法、免疫療法、再生医療の各種疾患への応用を進めています。

### ○病院機能評価の認定を受けました

昨年9月3日付けで病院機能評価（Ver6.0）の認定を受けました。病院機能評価とは、病院の機能を専門的、学術的に中立的な第三者機関から評価してもらい、良質な医療を提供していることを「認証」してもらうものです。この病院機能評価を行うことで、医療の質の改善や向上を継続的に行い、それが患者さんに還元されます。

### ○最新型MRIの導入

3.0テスラのMRI（超伝導磁気共鳴画像診断装置）「スカイラ」を今年の3月より始動する予定です。日本では1～2番目に導入される世界最新型のMRIです。当院ではMRI 2台となり、患者さんの待ち日数が大幅に短縮されます。また、診断面では強力な武器となり、皆様方の治療に大きな力を発揮します。

平成22年は以上のような整備を進めてまいりましたが、今年はさらに磨きをかけるとともに、特殊外来の設置や各診療科の充実を図り、患者さんや地域のニーズに応えるべく、一段と進化した佐倉病院を目指します。

# 市民公開講座のご案内

## 地域で考えるケアと治療 認知症と共に歩む“診断と治療” 第2回

21世紀は脳の世紀ともいわれます。テレビなどで「脳をきたえる」シリーズが取り上げられ、認知・脳に対する関心が高まっています。佐倉病院でも、昨年7月から、金曜日に神経内科「ものわすれ外来」が開設されました。また、佐倉病院では、一昨年、市民公開講座「地域で考えるケアと治療～認知症と共に歩む“診断と治療”～」を初めて取り上げ、大好評を博しました。今回、2回目となる講座が昨年11月13日に行われ、講堂が満席になるほどご参加をいただきました。

今回の市民公開講座は、脳神経治療にたずさわる神経内科、脳外科、メンタルヘルスクリニックの3科（これら脳神経治療にたずさわる診療科をニューロ3科とよんでいます）がかりからを合わせ、広く関連部署が協力して実現に至りました。

田上院長、佐倉市長 蕨様のご挨拶を賜り、講座がスタートしました。ニューロ3科および放射線科寺田先生のお話に続き、各関連部署からとても役に立つ情報がたくさん紹介されました。どのようなお話があったか、簡単にまとめておきましょう。

1. 神経内科的治療について：神経内科医師

2. 脳と体の運動について：理学療法士



神経内科 榎原隆次先生

- 3. 認知症でみられる言葉の症状 : 言語聴覚士
  - 4. 認知症とおくすり : 薬剤師
  - 5. 日常生活自立に向けた看護・療養のポイント : 看護師
  - 6. 記憶力・情緒低下への対応について : 臨床心理士
  - 7. 認知症ケア～ソーシャルサポート～ : ソーシャルワーカー
- 最後まで参加された市民の皆さん、患者さんとそのご家族には、認知症についての理解を深め、日頃の疑問点を解消し、当院が実施しているトータルケアを十分理解いただけたものと思います。なお、当日の発表スライドとアンケート集計結果を、当院神経内科ホームページ(<http://www.lab.tohoku.ac.jp/med/sakura/neurology/index.html>)にお寄せ欄にアップしております。皆様のアクセスをお待ちしています。

この他にも、12/25に循環器センター医師による市民公開講座「高血圧と上手くつきあおう」を開催いたしました。今後とも、当院では市民公開講座にて皆様のお役に立つ医療情報を積極的に提供いたします。



## 市民公開講座のお知らせ（入場無料・申込不要・200席）

開催予定日	講演予定テーマ	担当
1月22日(土)	優しくがんを治す腹腔鏡下手術 血管内カテーテル手術	外科 放射線科
2月26日(土)	怖いめまい・怖くないめまい 睡眠障害と改善方法	耳鼻咽喉科 メンタルヘルス
3月26日(土)	肺がん治療	呼吸器内科・外科
4月23日(土)	パーキンソン病と共に歩む “診断と治療”	神経内科・脳神経外科ほか
5月28日(土)	前立腺肥大・PSAと前立腺がん	泌尿器科
6月25日(土)	禁煙・たばこの害	呼吸器内科・循環器センター

ほぼ毎月、身近な疾患や症状をテーマにした市民公開講座を企画しております。多くの方にご参加いただき、病気の予防や早期発見、普段の生活に役立てていただければと考えております。

いずれの講座も14時から当院東棟7階講堂で開催する予定です。詳細はテーマごとに院内掲示およびホームページなどでご案内いたします。お問い合わせや講演テーマのご要望がございましたら、総務課にご連絡下さい。

## 放射線科が取り組む最先端治療：血管内治療・画像支援下低侵襲治療

放射線科 長谷部 光泉

要注意です。この症状が進み「重症虚血」と呼ばれる状態になると、足の切断に至るケースもあります。また、背景に基礎疾患を抱えている場合は、ある種の癌より5年生存率が低くなるという怖い病気です。当院では、このような難しい症例に対しても、積極的な治療を行っていくチーム医療を実践しています。



血管内治療の様子

放射線科はCT・MRI、核医学検査、血管造影の画像診断を行いますが、当院ならではの特徴があります。通常の画像診断については、各分野・臓器の画像診断専門医が臨床に即したレポートを提供していますが、画像所見だけからレポートを書くのではなく、臨床情報、各種検査から得られる情報を最大限に収集し、的確な画像診断を行い、そして緊急時や処置が必要な場合は細かな治療方針に至るまで示唆するスタイルを実行しています。

当院最大の特徴は、「血管内治療・画像支援下低侵襲治療（いわゆるIVRやカテーテル治療）」を積極的に行っていける点にあります。扱う疾患は肝細胞癌の動脈塞栓化療法、CTガイド下ラジオ波焼灼術、外傷出血・術後出血・腸管出血に対する動脈塞栓術、動脈瘤・動脈奇形に対する塞栓術、胸・腹部の膿瘍ドレナージ、肺・リンパ節生検など多岐にわたっています。さらに、循環器センターの一部門として治療も行っており、特に、下肢閉塞性動脈硬化症（ASO：動脈硬化に伴い足の血管が詰まる病気）に対する風船付きカテーテルやステントと呼ばれる金属の筒を用いた「血管拡張術」を積極的に行ってています。高脂血症・高血圧・糖尿病・透析などの背景を有し、足背の脈が触れにくい、数百メートル歩くと足がだるい、痛みがでるなどの症状を有する方は

## 職場復帰支援デイケアセンターの紹介

デイケアセンター 大塚 太

うつ病を中心とするこころの病気では、急性期には十分な休憩が必要ですが、急性期を過ぎた後の回復期にはリハビリテーション「リワーク」が、再発予防のために有効です。

再発の予防を行うことは職場復帰や職業生活の継続へと繋がります。当院のデイケアセンターは、「リワーク」に特化したデイケアであり休職から復職へ向けて、産業医と専門スタッフが担当をします。

うつ病を中心とするこころの病気で休職されている方、詳しいことをお知りになりたい方は、当院ホームページにアクセスしてください。なお、病気の状態など、当院デイケアの対象とならない場合には、ご希望に沿えないこともあります。ご了承下さい。

